

# さいかい

S  
A  
I  
K  
A  
I

移住で知りたい、リアルなお金、子育て、仕事。

「私の移住のしくみ」教えます。



# さいかい

NAGASAKI / SAIKAI LIFESTYLE GUIDE BOOK.

## STEPS 移住までのステップ

困ったことがあれば、移住相談員までお気軽にご相談ください。

### 1 西海市の情報を集めよう

まずはウェブサイトや西海市の移住相談窓口へ連絡し、情報収集を行い、移住後の暮らしをイメージ。移住相談会などがあれば、積極的に参加。



西海市移住情報

### 2 実際に西海市を訪れてみよう

どんな環境なのか自分の目で確かめておくのは重要。移住する前に「さいかい田舎暮らし体験補助金」を利用して、西海市を体験するのも有効。また、移住相談員による空き家情報バンクの物件の紹介も可能。



さいかい田舎暮らし体験補助金

移住する前に西海市を体験できる「さいかい田舎暮らし体験補助金」

移住を目的とする方が農林漁業体験民宿やゲストハウスに宿泊する際の費用の一部を補助する制度。(事前に相談・手続きが必要)  
お問合せ: 政策企画課 0959-37-0063



### 3 仕事や住まいを探そう

仕事探しは、ハローワークや県の就職支援サイト等を活用を。また住まい探しについては、不動産会社や西海市空き家情報バンク、または住宅の関連情報を活用を。  
※なお、市営住宅の入居者募集は毎月月初旬に行います。



住宅関連情報



## ACCESS



## INQUIRY 【移住に関するお問い合わせ】

西海市 さいかい力創造部 政策企画課

TEL:0959-37-0063 FAX:0959-23-3101

T857-2392 長崎県西海市大瀬戸町瀬戸壺浦郷2222番地

2024年3月発行 | 編集・デザイン: 株式会社西海クリエイティブカンパニー



たのしみ  
な生活

癒される”西の海“。  
西海市でいきいきと  
かなえる暮らし。

「西海」と書いて「さいかい」と読み、その名の通り日本列島の西のはしっこに位置する長崎県西海市。  
ダイナミックな外海と穏やかな内海に抱かれた地形で、それぞれの地域に特徴的な風土が根づいています。  
ここには昔ながらの素朴さを大切にしながら、不便さを心の豊かさへと手作りする暮らしが息づいています。  
今からご紹介するのは「西海らしさ×自分らしさ」を叶えた6人の移住ストーリー。  
可能性に満ちた移住プロセスと、豊かな自然を舞台にカタチづくられる  
「ON=仕事」と「OFF=プライベート」やコスト面のリアルをお伝えします。  
ON/OFFから見てくる、その人らしさがあふれています。  
西海に住まう魅力とあなたらしい暮らしのイメージが広がりますように。



**西海市基本情報**

- 人口** 25,419人 (令和6年1月末時点)
- 面積** 241.60km<sup>2</sup>
- 気候** 17.0°C (令和2年 年間平均気温)  
1月平均気温: 9.8°C / 8月平均気温: 27.4°C
- 降水量** 2,183.0mm (令和2年 年間降水量)

**地域** 豊かな特色を持つ5町

- さいかい 西海町** 5町の中で最も農業従事者が多く、みかん・豚・大根(ゆでぼし大根)などの生産が盛ん。
- せいひ 西彼町** みかん・いちご・米などの農業のほか、大村湾のカキ・なまこ・真珠養殖などの漁業も盛ん。
- おおしま 大島町** かつては炭鉱で栄え、現在の基幹産業は造船業。アジ・イサキの一本釣りやワカメ養殖などの漁業も盛ん。
- さきと 崎戸町** 捕鯨、炭鉱、製塩と基幹産業が移り変わり、イセエビなどの漁業も。江島 平島も同時に属す。
- おおせと 大瀬戸町** 農業はみかん・びわ、漁業はマダコイサキなど。また、松島には火力発電所が所在。



# CHILD CARE SUPPORT

## 子育て支援コミュニティ

### 気軽に相談と交流!子育てサポート充実

さまざまな相談窓口の設置や交流の場の提供を通して、妊娠中からの子育てのサポートを行っています。保育園や認定こども園と連携した子育て支援センターもあり、移住者の方でもすぐにお友達を作れます。「一人にしない」が西海市の支援のモットーです。



### 子育て世代包括支援センター

保健師、助産師、管理栄養士が、妊娠期からの疑問や困りごとに応え、アドバイスや必要なサービスを提案。ご自宅から、オンラインで相談も可能です。健康ほけん課 0959-37-0067



### 地域子育て支援センター

親子連れで集い、外遊びや絵本の読み聞かせ、クッキング講座などを実施。お友達づくりができます。子育てに関する相談もOK! こども家庭課 0959-37-0029



### ファミリー・サポート・センター

「保護者が病気で、子どもを預けたい」といった子育てのお手伝いを、センターに登録している会員に依頼できる、住民相互の支援の仕組みです。こども家庭課 0959-37-0029



### アプリで子育てサポート!「Babyぐっど」

西海市の子育てに必要な情報をチェックできる便利なアプリ。役立つ機能が満載。オンライン子育て相談も可能。健康ほけん課 0959-37-0067



## Q&A



### Q 車はやっぱり必要?

A 公共交通機関として、電車のない西海市。でも、路線バス(さかい交通)ならあります!中には、乗車時間は長いものの長崎市内中心部まで一本で行ける路線も。ただどうしても路線も便数も多くはないため、やはり西海暮らしに車はマストと言えるでしょう。走行距離に比例して高くなる月々のガソリン代ですが、市内には県内最安とも言われるガソリンスタンドあり。口コミで情報ゲットしてみてください!



### 未来が見える場所で、工夫しながら暮らす

熱い思いを形にしてくれた伊藤さんご夫婦ですが、当初聖子さんは「落ち着いて暮らしたい気持ちがあった」と話します。移住後、お子さんがすぐに友だちを作り、地域の催しにも積極的に参加する様子を見て、次第に安心したのだとか。習い事の面では選択肢の幅が少なく、

この地域はどんどん未来に向かっていくんだらうな

送迎の難しさもあり、農業や漁業が身近で、田舎らしい体験も増えています。「不便はありますが、自分たちなりに工夫しながら暮らしています」。実際に地元の方と関わる中で「西海には、地域を盛り上げようとするおもしろい大人が多い」と感じている健康大さん。「この地域はどんどん未来に向かっていくと思います」。医療過疎地域へ移住したお二人にそう感じさせるこの土地、西海には、見えないエネルギーが詰まっているのかもしれない。



右上がりに描かれたウェルビーのロゴ。常によりよく、成長し続けたいという思いを込めた。

## 移住プロセス

- 1 大村市にて家族五人暮らし。健康大さん・聖子さんとともに看護師として医療の現場で経験を積む。
- 2 2021年、家族で医療過疎地域である上五島へ。健康大さんの地域医療に対する思いが大きくなっていく。
- 3 県内地域を調べる中で、西海市の医療従事者や行政の方から話を聞く。西海市の現状を知り、移住を決意。
- 4 半年かかった物件探し。思いを言葉にしノートに書いた翌日に、大家さんとの出会い、家と事務所が決まる。
- 5 在宅医療に関わる補助金を利用し、行政を介して地域のケアマネージャーと提携するなど起業の準備を進める。

人生の最期までもに



たけ ひろ せい こ



移住費用も公開!

移住者インタビュー

動画はこちら

## 伊藤 健大さん・聖子さん

西海町へ/2023年移住

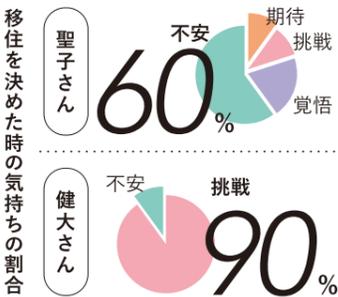
西海の「おもしろい大人」たちが、人と人を繋げ、地域に新たな人を呼ぶ。ひとつひとつの巡り合わせと熱い思いが可能にした、伊藤さんご夫婦の移住と起業について伺った。

移住に欠かせなかった地元の人とのつながり

移住の1年ほど前から「地域に出て力を発揮したい」と考え始めた健康大さん。県内各地を調べる中で、お友だちの医師・永田さん(12ページ)のいる西海市の情報を聞き、移住を決意。物件を半年ほどかけ6件見て回るもまったく決まらず、聖子さんは「不安との戦いだった」と打ち明けます。もどかしい状況の中、あらためて思いをノートに言語化したその翌日、

6ヶ月

現在の大家さんとの出会い、とんとん拍子で契約。「感謝しかない」と何度も繰り返すお二人。家が決まり、「これから自分たちも西海の人になることを意識した」と話す健康大さん。「マグネットみたい」と表現する、地元企業の社長に直接アプローチし、お会いしたのが増え、医療以外の側面でも地域



## 未来を拓いた人とのつながり

私の移住づくり

最期まで住み慣れた地域で暮らす選択肢を残したい

突然電話が鳴り「はい、はい」と言葉を書いたかと思えば、車に飛び乗って電話の向こうのお宅へ。「人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らす、その選択肢を残したいんです」。

心の通った声で話す伊藤さんご夫婦は、23年5月、西海

①情報収集資金 ②引越資金 ③生活開始必需品購入資金

10万円



「夫はほんとうに仕事に対して誠実」。聖子さんは、健康大さんの強力な味方でいつづけている。

市西海町で訪問看護ステーションをオープンしました。事業名は、広義での満足や幸福といたった意味を持つ単語「ウェルビーイング」から取り入れた「ウェルビー」。

事務所は、「おへそみたいな場所」と健康大さんが表現する、大島・崎戸・西海・大瀬戸の各地域にアクセスしやすい場所にあり、毎月300件ほどのお宅を訪問し、医療やケアを各家庭へ届けています。

150万円

「西海市在宅医療体制整備事業補助金」利用(手出し独立開業資金合計約1,350万)

# CHILD CARE SUPPORT

# 2

## 子育て支援の制度、事業

### 妊娠中・出産後

#### 未熟児産後支援事業

生まれた子どもが未熟児で入院加療が必要な際、通院のための宿泊費を助成。

健康ほけん課 0959-37-0067

#### ブックスタート事業

乳児検診の際、赤ちゃんとの心のふれあいを育む絵本2冊をプレゼント。

社会教育課 0959-37-0079

### 幼稚園 保育園

#### 保育料の減免

① 同じ世帯の2人以上の子どもが同時に幼稚園や保育園を利用する場合、2人目以降の保育料は無料となります。

② 同じ世帯で保護者の監護下にある子どもの3人目以降の保育料は無料となります。

こども家庭課 0959-37-0029

#### 副食費無償化事業

国の制度対象外となる3歳以上の子どもについても、月4,700円を上限に無償化します。

こども家庭課 0959-37-0029

### 小学校

### 中学校

### 高等学校

#### 学校給食費助成事業

多子世帯の負担軽減のため、市内の小・中学校の在学者で年長の児童生徒から3人目以降の学校給食費を全額補助します。

学校教育課 0959-37-0078

#### 奨学金貸付制度

学生生活や入学時に係る費用について 奨学金貸し付けを行い、修学の機会を支援。なお、一定の条件を満たせば奨学金の返還を免除。

教育総務課 0959-37-0077

#### こども福祉医療費助成制度

小学1年生から満18歳に達する日以後の最初の3月31日までを対象に、医療費の一部助成を行います。

こども家庭課 0959-37-0029

※入学に係る費用のみについての貸し付けはできません。

## Q&A



### Q 自治会って入ったほうがいい？

A 自治会に入ったことで地域の情報を知れ、コミュニティに入りやすかったと話す移住者の先輩多数！お買い得なスーパーの情報や、家庭菜園の上手な作り方など、地元の方だからこそ知る有益なアドバイスをもらうことができます。自治会費は、お祭りの運営や地域の保全、慶弔費などに充てられていて、地域によりませんが、移住者に配慮して項目ごとに払うかどうか尋ねてくれることも！強制徴収ではないので安心して◎



築130年の古民家が残っていたのは、西海だから

寺坂さんの移住体験を語る上で、この素敵なご自宅は外せません。「はじめて見た時は、畳が毛羽立っていたと笑いながら話す洋美さん。そのお家を大工の夫・直己さんが一目で気に入って「飯に自分だけでもこの家に住みたい」と熱い思いに促される形で、家族で移住を決

何もしなくても、これで十分幸せだなんて思う時間が増えました

意。直己さんの決め手は、築130年以上にも関わらず、雨漏りもなくシロアリの被害もなかったこと。不思議な力に守られた家のように感じたのだそう。「この家が残っていたのは、たぶん西海だから」。ポツリとこぼした直己さん。賃貸ながら手をかけ修復していることを、「この家を残したい奉仕の気持ちでも話します。寺坂家のおかげでもう一度笑顔あふれる空間となった。」この家「が、今度は寺坂家の幸せをずっと後押ししてくれる気がしてなりません。」



のどかな森を横切る自宅までのアプローチ。幼稚園からもどる子どもを迎えに行くのも、大事な家族の時間。

## 移住プロセス

- ① バックパッカーとして世界各国を旅していた20代。いつか古民家の宿をやりたい気持ちが生まれる。
- ② 直己さんと結婚し、故郷・松浦市や諫早市で過ごす。古民家に住みたい思いから、県内外の物件を内見。
- ③ 西海市内の幼稚園で行われたイベントに諫早から参加。その後、近所の方に現在のお宅を案内してもらう。
- ④ この家を気に入った直己さんにつられて、移住を決意。補助金を利用するなどして、半年かけてリフォーム。
- ⑤ 移住後は、畑や鶏の飼育などにも挑戦。地域の民泊先に登録し、充実の田舎ライフを送っている。

日常を忘れる体験を



寺坂 洋美さん



移住費用も公開！

移住者インタビュー

動画はこちら



寺坂 洋美さん

西彼町へ／2021年移住

県内外で家を見て回る中、惚れ込んだのは西海の古民家。「来たい人しか来れない町だからいい」と話す寺坂さんの言葉通り、西海ではミラクルな出会いがたくさん！

2万円

家族で一丸となり、ひとつひとつの営みに丁寧に取り組む。

5歳から小学6年生のお子さん3人を育てる洋美さん。いまの家では、薪ストーブの焚き木を拾いに行ったり、井戸からお水を汲んだり、家族で協力する仕事がたくさん。「積極的に手伝ってくれることに子どもへの発見があり、成長を感じます」。畑で野菜を作り、鶏を飼い、時に



民家って隙間風があるから、換気ができているのかも。」

いまも改装を重ね、家族にとってより住みやすい空間へ。緑側に面した気持ちの良い続き間で民泊受入中。

いい時間が流れる西海

わがわが来る場所だからいい

2万円

楽しいことを選び、笑いの絶えない仲間に出会った

21年に西彼町へ移住した寺坂さんご夫妻。洋美さんは、20代の頃、バックパッカーで世界を旅していました。旅で学んだのは、「正しいより、楽しい」を選ぶこと。ゲストハウス滞在の経験から思い描いた「いつか古民家で宿を」との夢が、移住後意図せず叶うことに。23年から市内の民泊事業に



築130年の古民家で新たな生活をはじめた寺坂家。笑い声の灯る空間で子育てを楽しんでいる。

110万円

「空家活用定住移住促進事業補助金」使用(手出し住居改修費20万)

登録し、主に県外の修学旅行生を受け入れています。屋号は「西海の言葉で我が家を意味する「えんち」から取り(ench)に。「忙しい日常から離れて、西海でゆっくり過ごして、くれれば」。民泊に登録したことで、よい出会いもありました。「西海市が好きで、よくしていきたいと頑張る地元の若い世代に出会えた」。楽しみながら地域の課題に取り組みむよい仲間を得て、洋美さんの西海ライフは前へ進み続けています。

# CHILD CARE SUPPORT

# 3

## 小学生からの子育て支援

### 学ぶ意欲を育む特色ある取組

子どもたちの学ぶ意欲を引き出し、学力向上を図るため、各種検定の受検料補助や、ICT機器環境の整備 特色ある英語学習の取組などを行っています。 学校教育課 0959-37-0078

### 漢字検定・英語検定受検料補助

中学校2、3年生の英語検定(年1回)の受検料を補助。

### ICT機器の活用・整備

小・中学校すべての普通教室に電子黒板を整備。文部科学省「GIGAスクール構想」に基づき、1人1台端末を整備し、最先端のICT教育を推進します。また、令和5年度は、小学4年生と中学1年生に「メタバースを活用した放課後オンライン学習会」を実施し、今後、対象学年を広げていく予定です。

### エンジョイ! イングリッシュ

「エンジョイ!イングリッシュ at School」は、市内の小学校5年生または6年生を対象とした英語学習プログラムです。西海市のALTが各小学校に出向き、交流学習を行って、楽しく英語への興味関心を高めます。中学校では「エンジョイ!イングリッシュ in 西海」として、バイオパーク等で西海市内のALTと交流学習を行います。



### 待機児童ゼロ!

保育園に入れないという心配がなく、仕事復帰も安心です。

#### 西海市の子育て基本情報

保育園.....10園	小学校.....10校
幼稚園.....1園	放課後児童クラブ・14クラブ
認定こども園.....6園	中学校.....6校
小規模保育事業・1園	高等学校.....3校

R6.1.1 現

## Q&A



### Q 家探しは難しい?

A 根気強く探すのがミソ!希望にあったお家を見つけるまで1年半探した移住者の先輩もいます。空き家バンクや市の担当者、地元の不動産屋さんなど、さまざまなルートからコンタクトをとりつつ、まめに探してみてください。知人の紹介で物件を見つけた方も多いため、移住前から地元の方とつながりを作っておくのも◎市外の方も気軽に参加できる楽しいイベントが定期的に市内各所で開かれていますので、ぜひ顔を出してみてください。

最適な風通しと心に残る風景が魅せる西海の暮らし

西海で畜産業を営んで思うことは「環境がものすごくいい」。暑さに弱くて寒さに強い牛にとって、夏をどう乗り切るのがポイント。「そこにピンポイントで、西海は風が本当にいい」。風通しのよさは台風の際にも心配にも繋がるもの、多少被害にあっても牛

移住してから誘いまで あっても牛

移住して5年、やっぱりもう俺は田舎に染まったな

移住して5年、やっぱりもう俺は田舎に染まったな



牛のストレス発散のため整備した放牧場。斜面をのぼる潮風にあたり、気持ち良さそうな牛たち。

### 移住プロセス

- 1 埼玉県で生まれ育ち、東京農業大学で畜産学科に進学。卒業後は、北海道で約2年間乳牛の仕事に携わる。
- 2 乳牛の繁殖に関するノウハウを身につける中で、黒毛和牛の畜産をやってみようという思いが芽生える。
- 3 西海で畜産業を営む友人より仕事の誘いを受け、自身が求める就農や暮らしが可能か現地に足を運ぶ。
- 4 西海に移住し友人の会社・ミクリヤ畜産に就職。その2~3ヶ月後に実咲さんが移住し結婚、2児に恵まれる。
- 5 ミクリヤ畜産で黒毛和牛の畜産について2年間修行後、新規就農者支援の補助金を利用し白土畜産として独立。

### 仕事も休みも超え育む命



住み心地よい西海の風



移住費用も公開  
移住者インタビュー  
動画はこちら

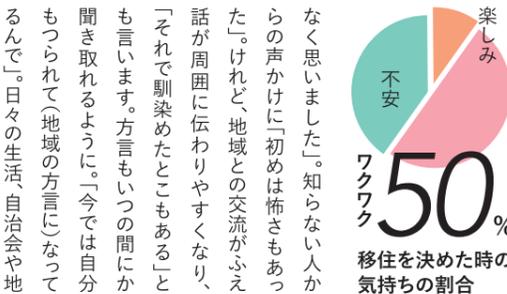


白土 克暁さん  
西彼町へ/2019年移住

白土さんの移住の感想は一言で「人」。西海へ導いた人、決断を支持してくれた人、温かい西海の人。チャンスの種が西海の地に根付き、人を肥料に思いが実を結ぶストーリー。



大変な仕事にも、充実感と牛たちへの親心があふれる。



3才の周弥(あまね)くんも牛のお世話をお手伝い。

## 思いを実現に向けた関係性

牛にも人にも真っ直ぐ向き合って展開した移住と独立

仔牛にミルクを飲ませながら「この子、可愛いでしよう」と満面の笑みを浮かべる白土さん。北海道で乳牛に携わりながら「肉」として牛を育てたい思いが沸いてきた頃、黒毛和牛の畜産を営むお友だちから「西海と一緒に仕事しないか」と連絡が「やりたい!」すぐに

下見費用 10万円



ミクリヤ畜産の御厨さん夫婦(真ん中・右)とは、おなじ大学出身。気心知れた関係が移住のきっかけに。

現地に向き、西海での仕事(ON)と暮らし(OFF)を確認。そして移住を即決。「取材は俺より牛のことをメインにお願いします」とにかく

和牛を消費して欲しい」と牛を前面に出す姿から見える牛への真・直ぐな愛。とはいえ移住は

400万円  
「新たな就農者支援事業補助金」利用(手出し独立開業資金合計約500万)

# BUSINESS

農業・漁業を育むサポート

## AGRICULTURE

経験・農地がなくても農業研修からスタート!

JA長崎せいひの子会社である(アグリ未来長崎)や(大西海ファーム)、また地域の農家で、最長2年間の実践的な研修を受けることができます。研修後は、中古ハウスの確保や農地の賃借などを支援。国・県・市の補助事業活用などもサポートし、就農を応援します!

JA長崎せいひ担い手支援センター 095-825-5601

長崎県下トップクラスのサポート!

新規就農者支援制度

営農が軌道に乗るまでの期間の生活支援や、ハウス・機械など営農に必要な施設等の整備に対する支援を行っています。 農林緑推進課 0959-37-0070



## FISHERY

新規漁業就業者支援制度

新たに漁業を始め、就業定着の意欲などがある方に対して、技術習得研修期間内に必要となる経費として、生活費(最大138千円/月)や保険加入料、漁業資材購入費、指導者への謝金、独立初期の生活費支援があります。 ふるさと資源推進課 0959-37-0066



西海ブランドの逸品たち「ぎゅぎゅっと! 西海」



西海市だからこそ育める! 農畜産物や水産物のプレミアムブランド「ぎゅぎゅっと! 西海」の美味しい逸品たちを、西海市ふるさと納税などで見かけた際や訪れた際は、ぜひ味わってみてください。

## Q&A



Q「西海に住むならこれ買っとけ」的な季節商品って?

A ずばり草刈機! 一軒家を借りたり、自治会の清掃に参加したりする方は、あると損なし(もちろんマストではありません!)。また、意外と雪が積もりやすいのが盲点。市内の山側では道路の凍結やスリップの危険もあり、心配な方はチェーンを用意するといいかも。場所によっては盆地で底冷えをする地域もあるため、移住後、お家に薪ストーブをつけた方も。特に古民家に住む方は、ソフト/ハードともに冬の防寒対策をお忘れなく!



単刀直入に言うと、この地域を次の世代に残したいんです

立ち上げまし。会社名は、社会課題の解決を持続可能なものにする意味合いを込

め「西海サステナブルソリューションズ」に。グループホームは空き家を活用しており、101カレッジを卒業した子が、うちで就職し、西海市の空き家に住んで、地域の後継者問題も解決されるよい循環を生みだせれば。田島での観光業にも力を入れ、福祉の側面に限らず総合的に地域に活力をつけようと、日々取り組む加藤さん。「単刀直入に言うと、この地域を残したい気持ちが強いです」。そう話す加藤さんは、もはや移住者ではなく、ひとりの西海人として熱い思いを抱いています。



加藤さんからスタッフと地元の方たちが手を取り合い、協力して挑んできた無人島・田島の開拓。

## 移住プロセス

- 1 少子高齢化の進んだ秋田県で生まれ育ち、地域再生に思いを馳せながら、24歳まで看護師として勤務。
- 2 「無人島」のキーワードで田島がヒット。2019年、リゾートバイトで西海市初滞在。
- 3 3ヶ月の滞在期間中、オン/オフ両側面で地域の人と深く付き合い、西海市の人の温かさに心打たれる。
- 4 香川、名古屋、横浜、新潟など様々な場所で移住の疑似体験をするも、西海への思いが燃り続ける。
- 5 田島オーナーからの、職業体験校(のちの101カレッジ)職員として西海に来ないかとの誘いに乗り、移住。

循環型地域の実現へ



この地域を後世に残すための基盤づくりを

101カレッジを運営する中で、障害者手帳を持った子どもも受け入れられたらと思いついた加藤さん。その思いを形にと、2023年2月、知的、精神、身体障害の方も受け入れられる障害者グループホームを立ち上げまし。

たかひろのじゅら



移住費用も公開!

移住者インタビュー

動画はこちら



加藤 嵩啓さん

西彼町へ/2020年移住

「正直全部自分の趣味から始まったことなんで」とニカッと笑う加藤さん。

ここ西海で、地域とともに歩みながら、自分の「好き」をライフワークとして形にしている。

## 西海ではじまるライフワーク

私の移住づくり

3ヶ月

無人島への関心から西海市と出会って、移住した加藤さん。田島に初めて渡った日、西海の人の逞しさに驚いたそう。「竹で屋根を組んでいたら、70過ぎくらいのおじいちゃんがキビキビ竹の上を歩いて、こりゃすごいところに来たなって」。一緒に移住前、仕事をし、バイトで滞在



「マジおもしろいんで」と地域の方を紹介する加藤さん。濃いつながりが西海ならではのようだ。

の深い繋がりが生まれ、いきました。人の明るさ・土地のおもしろさ・食べ物・美味しさが、西海の良さだと話します。いまでは、田島の事務所まで地域の方とカラオケをしたり、電子機器の使い方を教えてあげたりと、地域にとって心強い存在に。「毎日が非日常で、新しい出会いがたくさんあり、移住してからとても楽しいです」。

10回

バイト期間中に地域の方のお宅でご馳走になった回数

子どもたちと一緒に、子ども食堂へ101わんさか食堂を開き、地域の方に手料理を振舞う機会に。

子どもたちと一緒に、子ども食堂へ101わんさか食堂を開き、地域の方に手料理を振舞う機会に。「自信をつける場にしてもらった。誰かに何かを提供することは、将来大切だから」。地域の方との気持ちのやりとりで子どもたちも大きく成長し、子ども食堂の経験が評価され、就職が決まること



移住を決めた時の気持ちの割合



地元の方が作った野菜で、子どもたちが料理を振舞う。そのお礼に、また野菜をと親切の循環が。

101カレッジの生徒の進路11人中9人...就職、2人...進学(2024.02.01現在)

もあつたそう!

# BUSINESS

## 仕事探しと創業、事業サポート

# 2

### 仕事を探す。 (市内の企業)



市内で仕事を探す場合、ハローワーク西海で紹介することになります。上記のQRコードで近年求人実績のある市内の魅力ある企業の一部をご紹介します。  
ハローワーク西海 0959-22-0033

### 創業者や後継者に 対する支援



創業をしようとする方や、創業5年未満の方で、西海市商工会の「創業相談」を受けた方へ、会社設立時の登録免許税軽減などを行います。創業後2年以上で「特定創業支援等事業者」奨励金として、1事業者につき50万円を支援します。  
ふるさと資源推進課 0959-37-0064

### 小規模事業者などへの 施設整備補助金



地域経済を支える小規模事業者などが、事業規模の拡大や生産性の向上、店舗魅力向上のため、施設の増設や機械設備の導入、備品購入などを行う際、事業費の1/2を補助します。  
ふるさと資源推進課 0959-37-0064

### 新しい働き方を目指す西海市

西海市では、デジタル技術を活用した新しい働き方に関するセミナーを平成28年度から実施しています。AIやメタバースなどを活用したビジネススキルを持つ人材を増やすことで、人が減っても大丈夫なまちSAIKAIを目指しています。

## Q&A



### Q 病院は近くにある？

A 市内には現在2つの病院、17の診療所、9つの歯科医院があります。現在のところ、24時間対応の救急医療体制は市内になく、平日の夜間や土日祝日の急患には在宅当番医(市内の医療期間)が対応しています。2024年度中には、24時間365日対応できる救急科を備えたクリニックの開設が予定されているそう。また、動物病院は市内に大瀬戸の1施設しかなく、住むエリアによっては市外に連れて行くのが早いケースも。



自然の中で、地域の中で、子どもたちのびのび成長  
小学4年生・2年生・5歳と、元氣盛りの男の子3人を育てる永田さんご夫婦。クリニックのある大島町は海に囲まれているため、自然が子どもたちの遊び場です。「自分が育ったのと同じ、自然の中でわいわいと遊べる環境が子どもたちにも合っている気がします」と純一さん。自宅は医院の二階にあり、「患者さんと同じ地域の住民にならなかった」ご夫婦の思いにぴったり。おかげで、地域の輪の中で、見守られながらのびのびと子育てができています。その中で暮らすにしている部分を見ることを心がけている聡美さんは、田舎暮らしでも「不自由はない」と断言。「特別新しいものがなくても、十分足りているのかも」。永田さんご夫婦は、地域の方への感謝を忘れず、西海の暮らしを楽しんでいます。

新しいものがなくても、十分足りているのかもしれないですね

「田舎の医者になりたい」と医療の道を志した純一さん。僻地医療へ力を入れる栃木県の自治医科大学へ進学。



ほかからかて芯の強い聡美さんの公私にわたる支えもあり、造船の島・大島で船出したクリニック。

### 移住プロセス

- 1 「田舎の医者になりたい」と医療の道を志した純一さん。僻地医療へ力を入れる栃木県の自治医科大学へ進学。
- 2 卒業し、研修医として大村の国立長崎医療センターで経験を積んだ後、対馬で僻地医療の実践を重ねる。
- 3 10年間対馬病院にて整形外科医として勤務。次のステップを考える中、地元・西海に戻る気持ちが強くなる。
- 4 西海市役所や市内の地域商社に直接メッセージを送り、ヒアリング。この地で医療に貢献したいと移住を決意。
- 5 大島町でクリニック開業。プライベートでは、元氣な3人のお子さんを自然の中でびのびと育てている。

輪に加わり、輪を広げる



# ふたりのしずく



移住費用も公開！

移住者インタビュー

動画はこちら

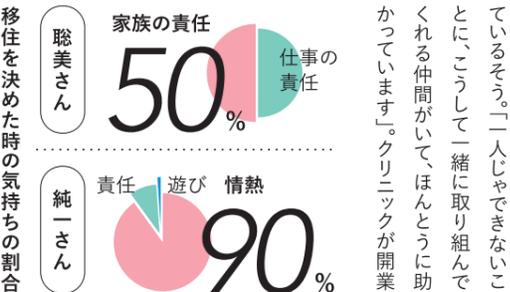


## 永田 純一さん・聡美さん

大島町へ/2022年移住

医師として、子どもたちの親として、そしてひとりの西海市民として。西海の営みの輪の中で、地域の人と感謝や笑顔をかわしながら暮らすことが、永田さんご夫婦の移住の秘訣。

一人ではできないことも、一緒にする仲間を見つけて  
地域の「輪の中で」、近所の方々の営みの「輪に加わり」、そして良いつながりの「輪を広げる」。「輪」という言葉を何度も口にする純一さんは、仕事でも生活でも輪とご縁を絶やさないよう心がけています。その関係性から移住へとつながったのが、高校の同級生だった伊藤さん(4ページ)。聡美さんに「彼氏みたい」と言われるほど頻繁にお互いの熱い思いを共有し



移住を決めた時の気持ちの割合  
「聡美さん」「純一さん」  
「スタッフたちが困らないようにと誠実に業務にあたります。」

## 地域の輪の中で感謝を忘れず

私の移住づくり

「田舎の医者になりたい！」  
地元・西海で医療を届ける  
テラコッタ色の屋根が目を引く「大島ながたクリニック」。22年、大島町に新しくできた地域診療所です。医師の純一さんは元々西海町の出身で「田舎の医者になりたい」と医療の道を志し、10年間対馬で僻地医療に携わってきた。医師として次のステップを考えた移住検討のための下見



「田舎の医者に」との夢を叶えた永田さん。医院は、地域の方にとってなくてはならない場所に。

時「やはり地元のことを一番気になった」と振り返ります。西海市役所の担当者や地元の地域商社などにヒアリングをし、移住と開業を決意。クリニックでは整形外科をはじめ、内科や小児科の患者も幅広く受け持ち、待合室には老若男女多くの患者さんが。クリニックで事務長を勤める聡美さんも、「患者さんや職員さんの笑顔を見られて、すごく嬉しい」と感謝しきりです。

# 3500

万円

「西海市医療機関新規開設・承継補助金」利用(手出し独立開業資金合計約1億7650万円)

